

ヨド倉庫

組立説明書

SOBU-5857型 (L)・(M)・(H)・(FH)

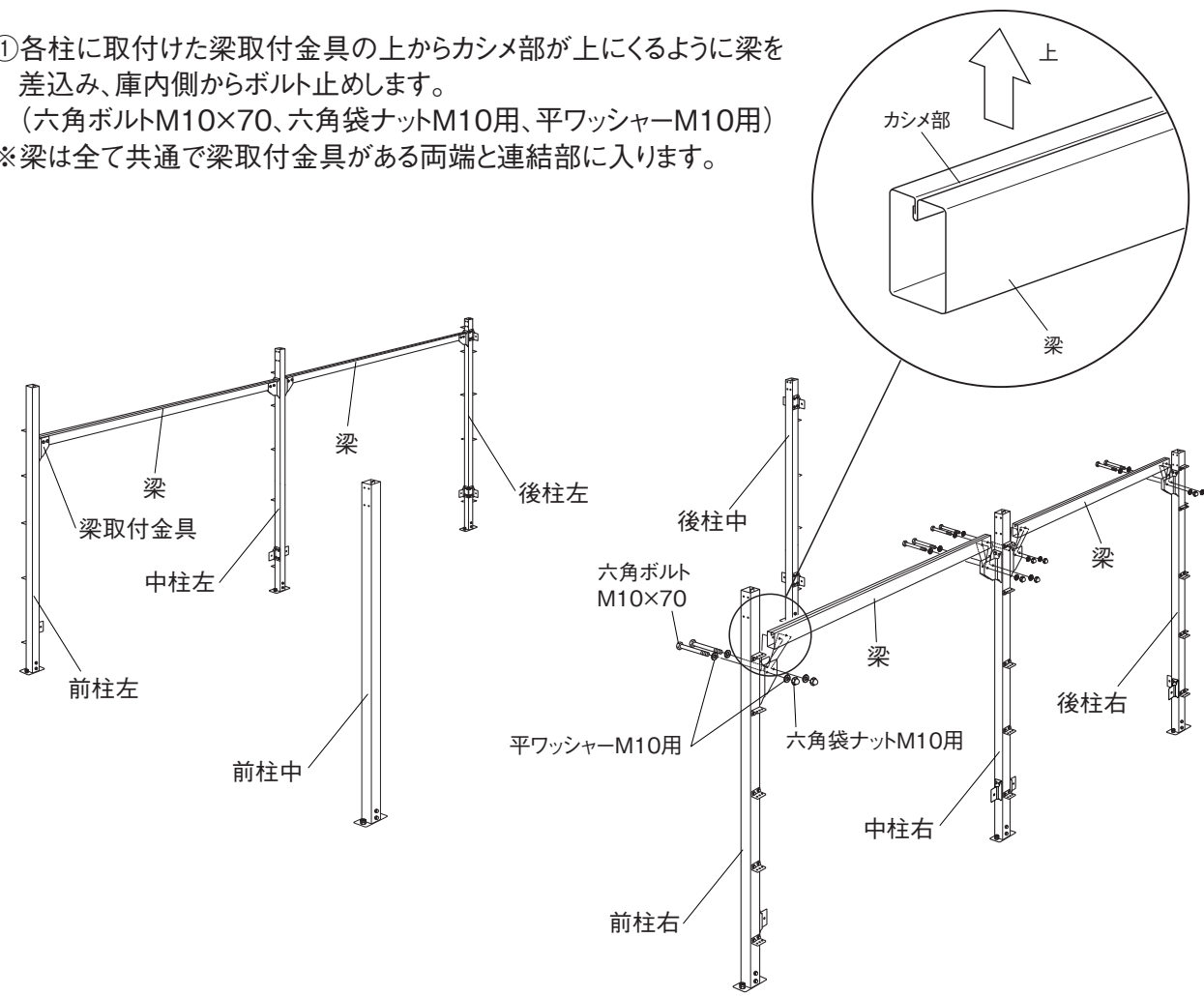


※本説明書はSOBU-5857Mを基に説明しております。
※組立説明書Ⅱ・Ⅲの順で組立てください。

4 梁

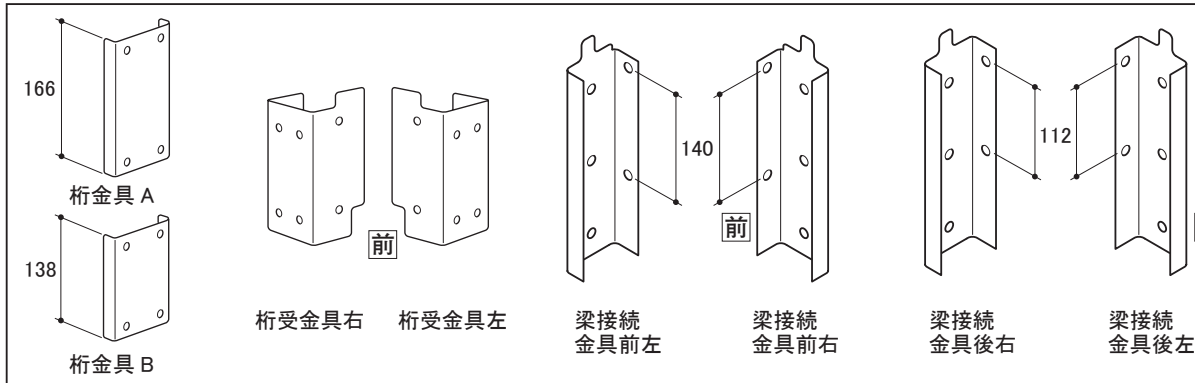
- ①各柱に取付けた梁取付金具の上からカシメ部が上にくるように梁を差込み、庫内側からボルト止めします。
(六角ボルトM10×70、六角袋ナットM10用、平ワッシャーM10用)

※梁は全て共通で梁取付金具がある両端と連結部に入ります。



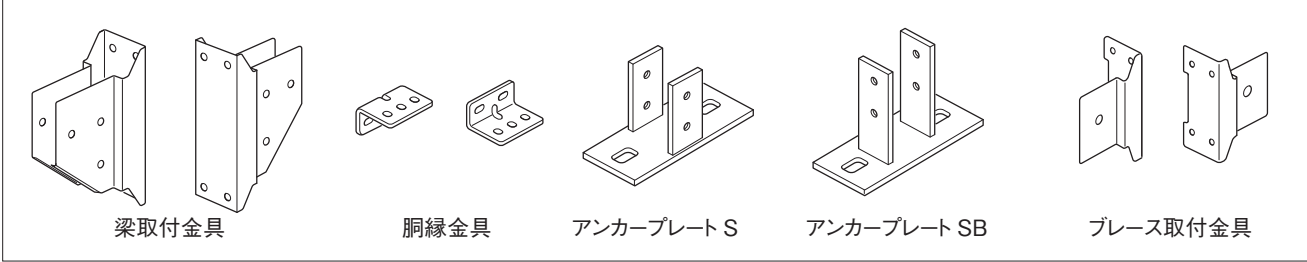
5 桁及び大梁（梁55A・梁55B）

〈使用金具一覧〉

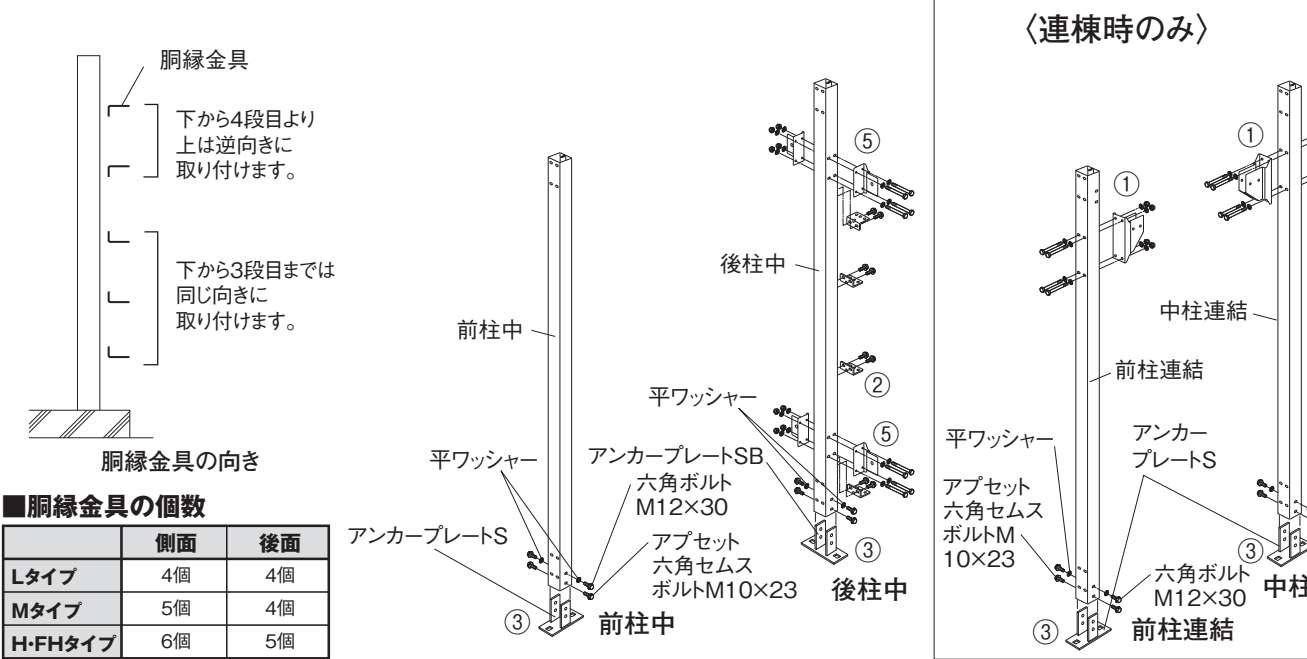


1 前工程（1）

〈使用金具一覧〉



- ①梁取付金具を柱の上部に取付けます。
(六角ボルトM10×100、六角袋ナットM10用、平ワッシャーM10用)
※Hタイプの場合は下図と取付位置が異なりますので注意してください。
(柱の上端より806mm下の位置になります)
- ②胴縁金具を柱のタブに取付けます。
(アプセット六角セムスボルトM8×21)
- ※下から3段目までは図aのように取付け、4段目からは図bのように取付けます。
- ③アンカープレートSBを後柱中及び後柱連結に取付け、それ以外の柱にはアンカープレートSを取付けます。
(アプセット六角セムスボルトM10×23、六角ボルトM12×30、平ワッシャーM12用)
- ④プレース取付金具を図のように前柱右(左)及び中柱右(左)の下部に取付けます。
(六角ボルトM10×100、六角袋ナットM10用、平ワッシャーM10用)
- ⑤同様に後柱の上下にもプレース取付金具を取付けます。
(六角ボルトM10×100、六角袋ナットM10用、平ワッシャーM10用)
※プレースの付かない所にはプレース取付金具は不要です
(⑧プレースの項目にある配置を確認ください。)



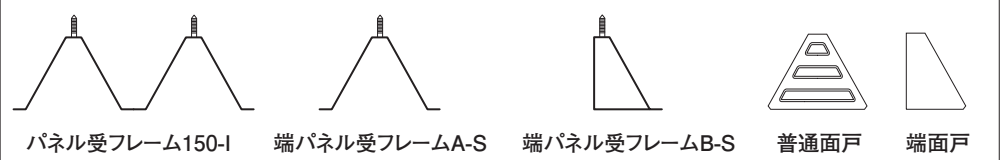
■胴縁金具の個数

	側面	後面
Lタイプ	4個	4個
Mタイプ	5個	4個
H・FHタイプ	6個	5個

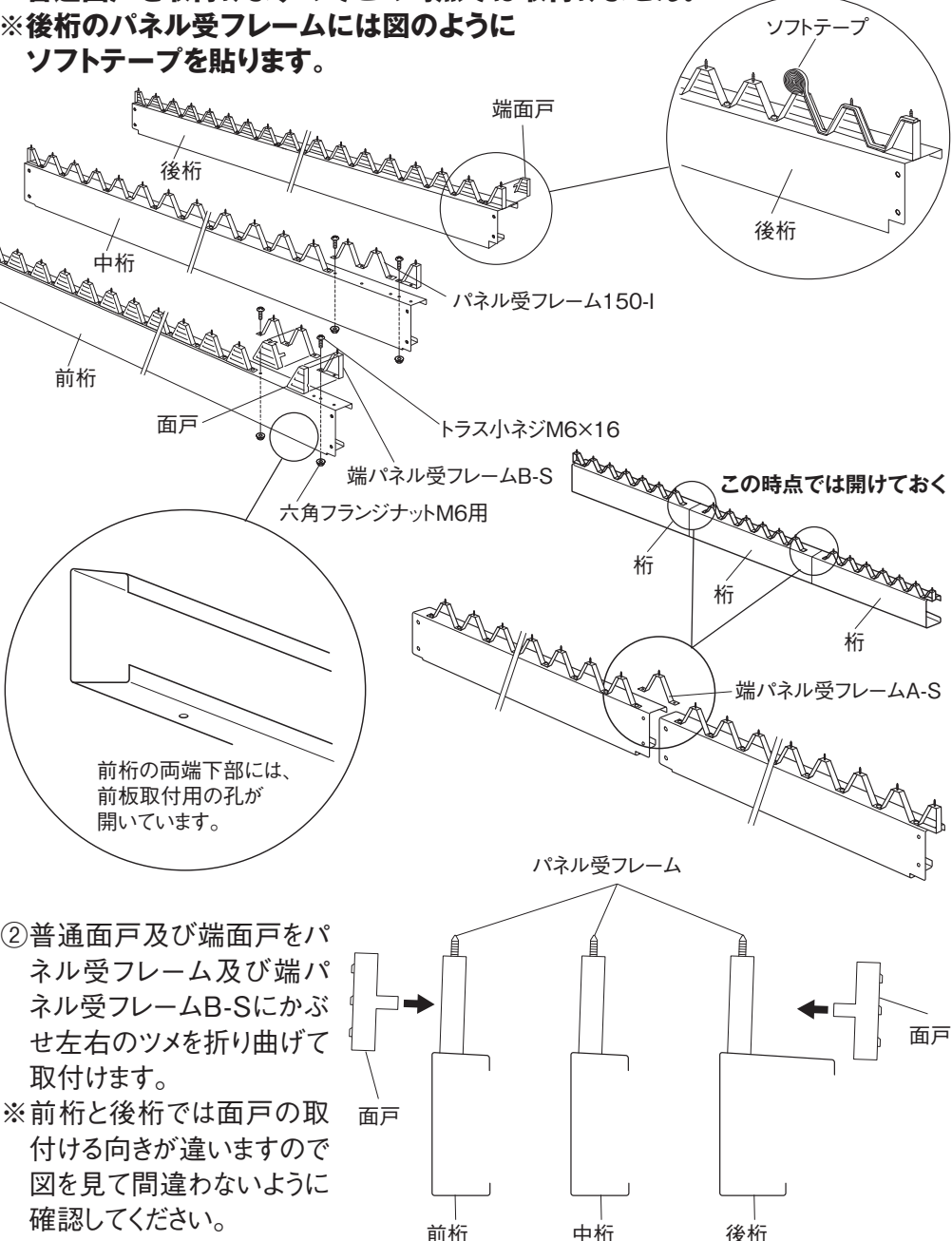
柱の長さは前が一番長く、後が短くなっています。
柱の種類は別紙「梱包明細表」でご確認ください。
柱、金具の向きを間違えない様に注意してください。

2 前工程（2）

〈使用金具一覧〉

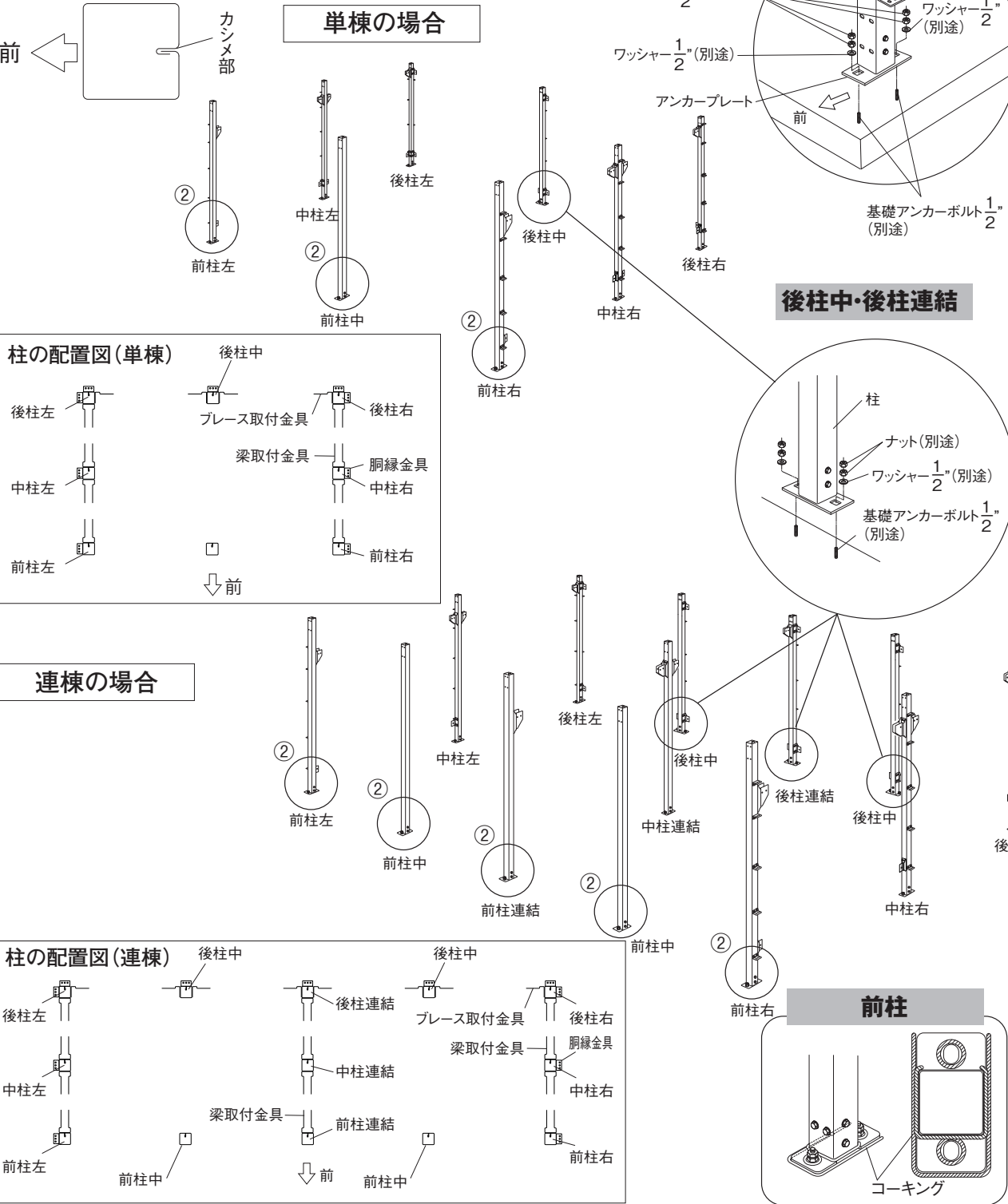


- ①パネル受フレーム及び端パネル受フレームを桁に取付けます。
(トラス小ネジM6×16、六角フランジナットM6用)
※桁のつなぎ目部分は桁を柱に取付けた後、端パネル受フレームA及び普通面戸を取付けますのでこの時点では取付けません。
※後桁のパネル受フレームには図のようにソフトテープを貼ります。

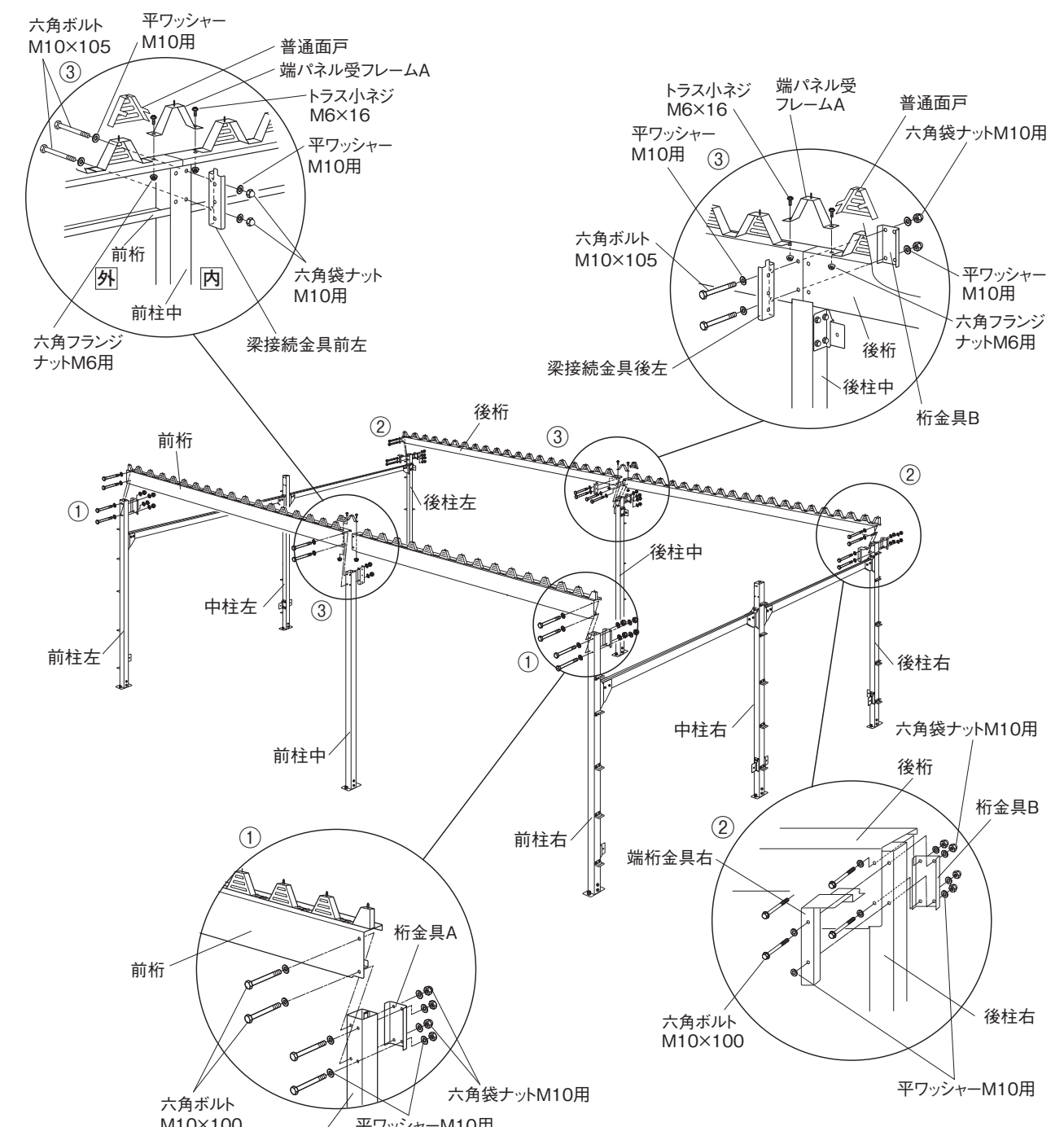


3 柱

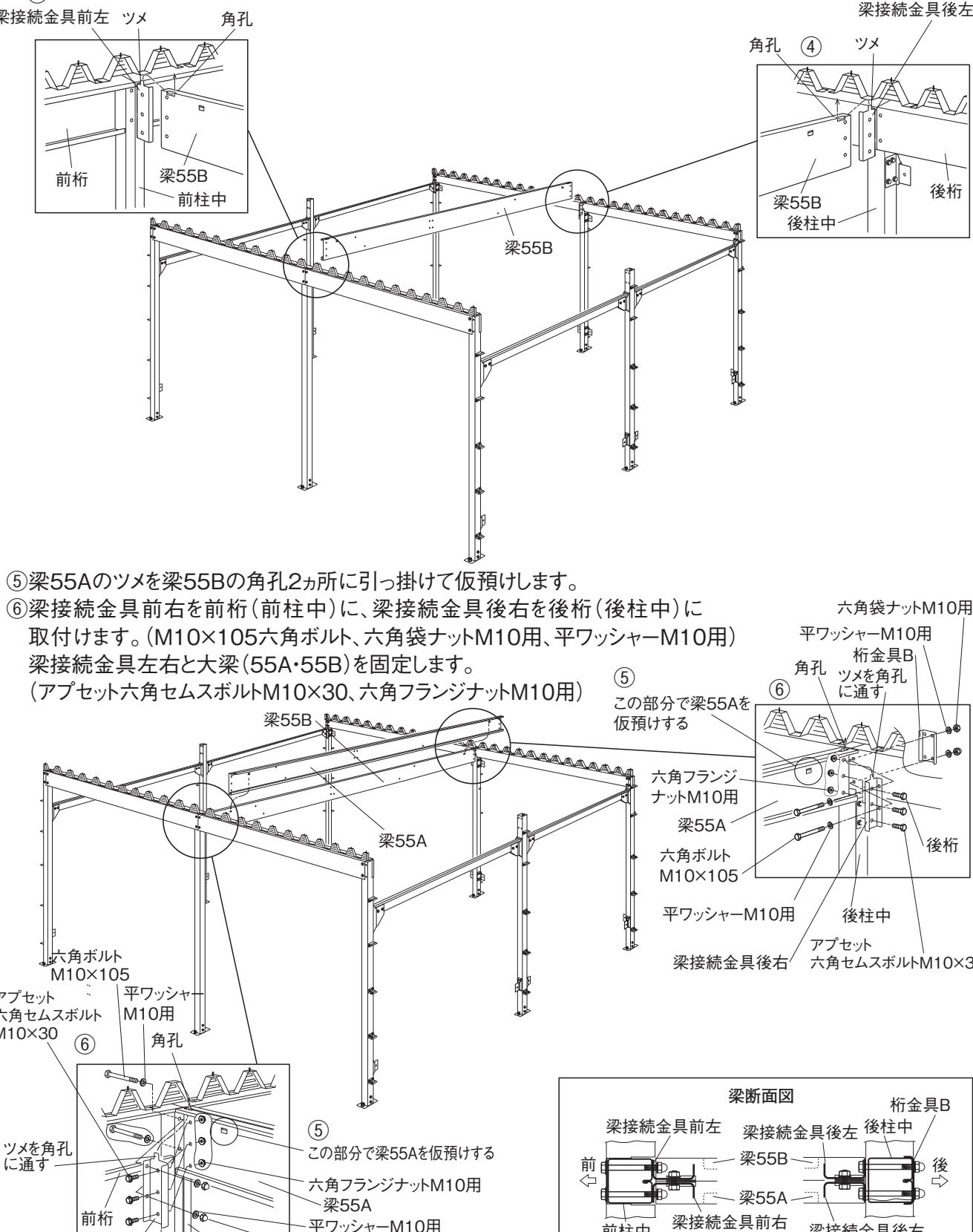
- ①柱をアンカーボルトに固定します。(ワッシャー $\frac{1}{2}$ 、ダブルナット $\frac{1}{2}$)
柱の向きはカシメ部が後にくるようにします。
- ②前柱の下部には下図のようにコーキングしてください。



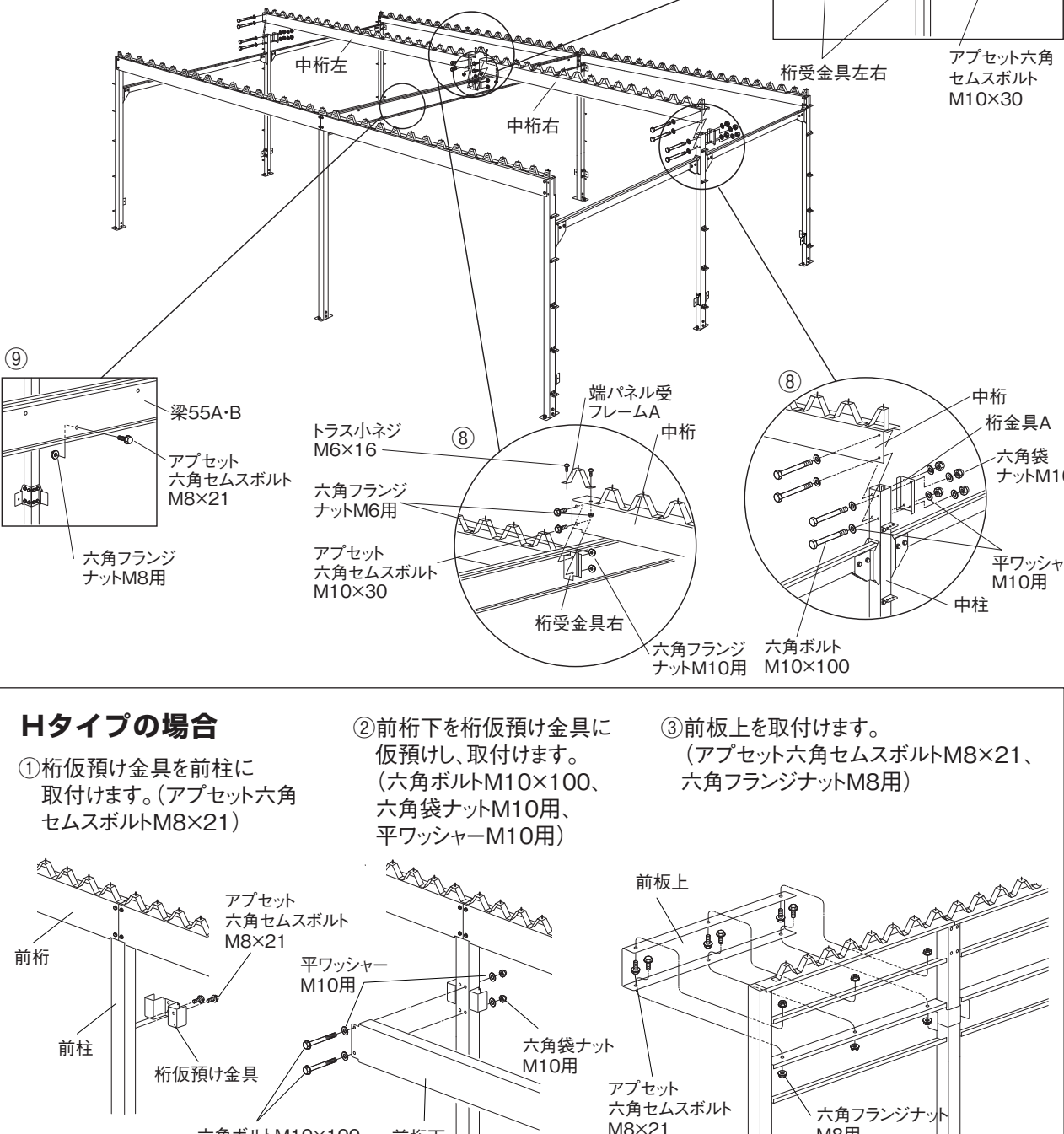
- ①前桁を前柱に仮預けし、桁金具Aと一緒にボルト止めします。
(M10×100六角ボルト、六角袋ナットM10用、平ワッシャーM10用)
- ②後桁を後柱に仮預けし、桁金具Bと端桁金具を一緒にボルト止めします。
(M10×100六角ボルト、六角袋ナットM10用、平ワッシャーM10用)
- ③梁接続金具前左を前桁(前柱中)に、梁接続金具後左と桁金具Bを後桁(後柱中)に取付けます。
※前柱中には桁金具Aは不要です。
(M10×105六角ボルト、六角袋ナットM10用、平ワッシャーM10用)



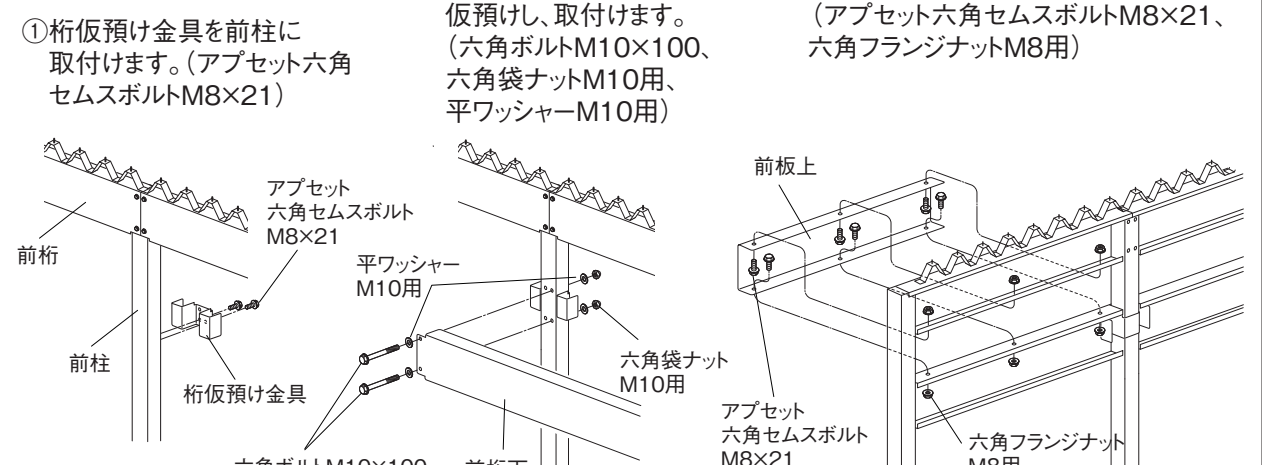
- ④梁55Bの角孔を梁接続金具前左・後左のツメに通して仮預けします。



- ⑦桁受金具を大梁(梁55A・梁55B)の中間部分に取付けます。
(アプセット六角セムスボルトM10×30、六角フランジナットM10用)
- ⑧中桁を取付けます。両端部は中柱に桁金具Aと一緒に固定します。
(六角ボルトM10×100、六角袋ナットM10用、平ワッシャーM10用)
- ⑨梁55Aと梁55Bをボルトで固定します。
(アプセット六角セムスボルトM8×21、六角フランジナットM8用)



Hタイプの場合



6 胴縁

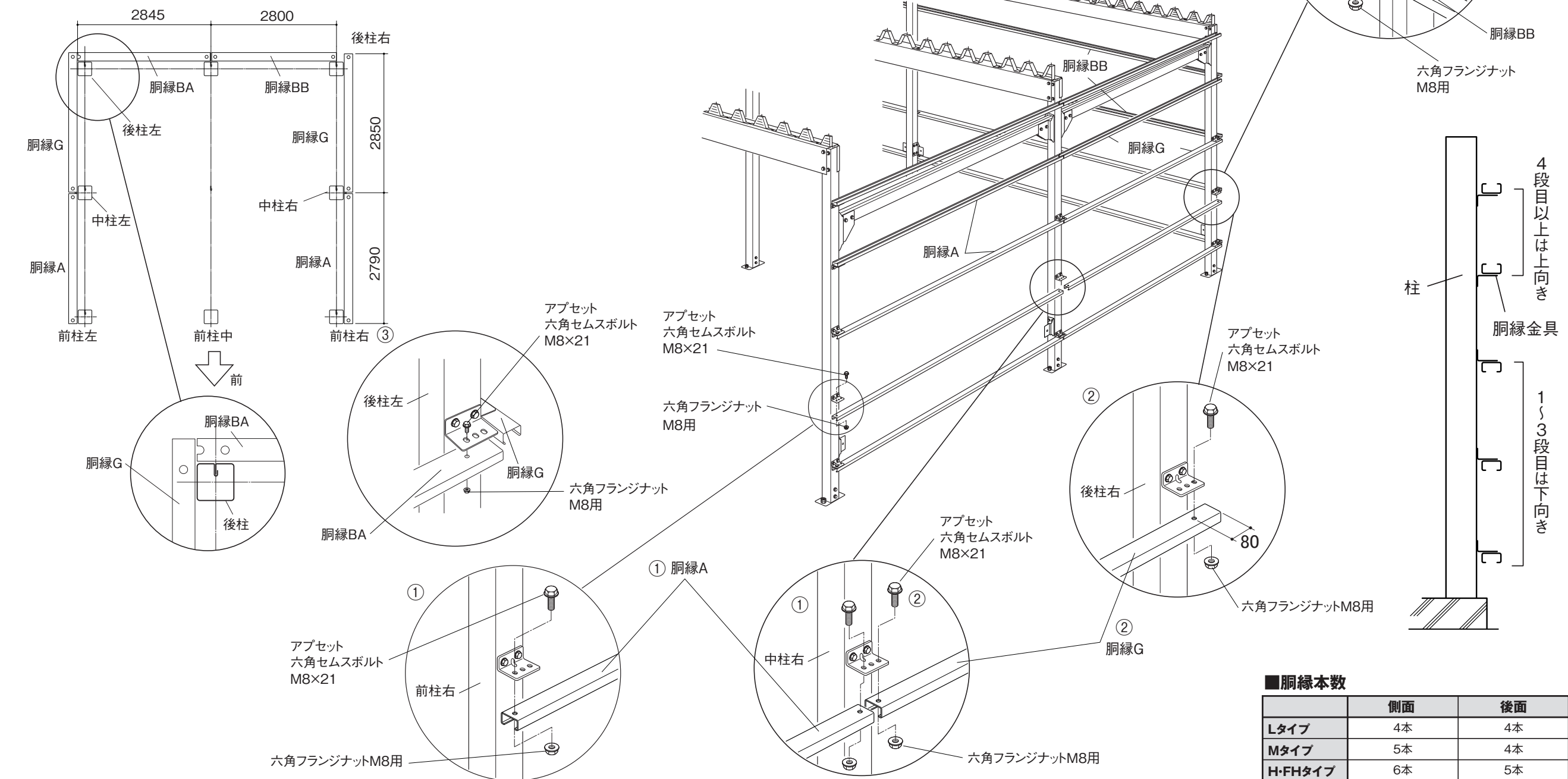


胴縁は、この時点では仮止めで固定します。
屋根をのせ、建ちを調整してから本締めします。

- ①胴縁Aを側面の前柱と中柱の胴縁金具に取り付けます。
(アプセット六角セムスボルトM8×21、六角フランジナットM8用)
- ②胴縁Gを側面の中柱と後柱の胴縁金具に取り付けます。
(アプセット六角セムスボルトM8×21、六角フランジナットM8用)
- ③胴縁BAを後面の胴縁金具に取り付けます。(連結の場合は、正面方向って左より胴縁BA→胴縁BBの順に取り付けます。)
この時、半円の切り欠きがある方を左端にるように取り付けます。
(アプセット六角セムスボルトM8×21、六角フランジナットM8用)

※胴縁A・G・BA・BBは、長さとし位置が違いますので間違わないように確認してください。

※胴縁は、1～3段目は下向きに、4段目以上は上向きに取り付けます。

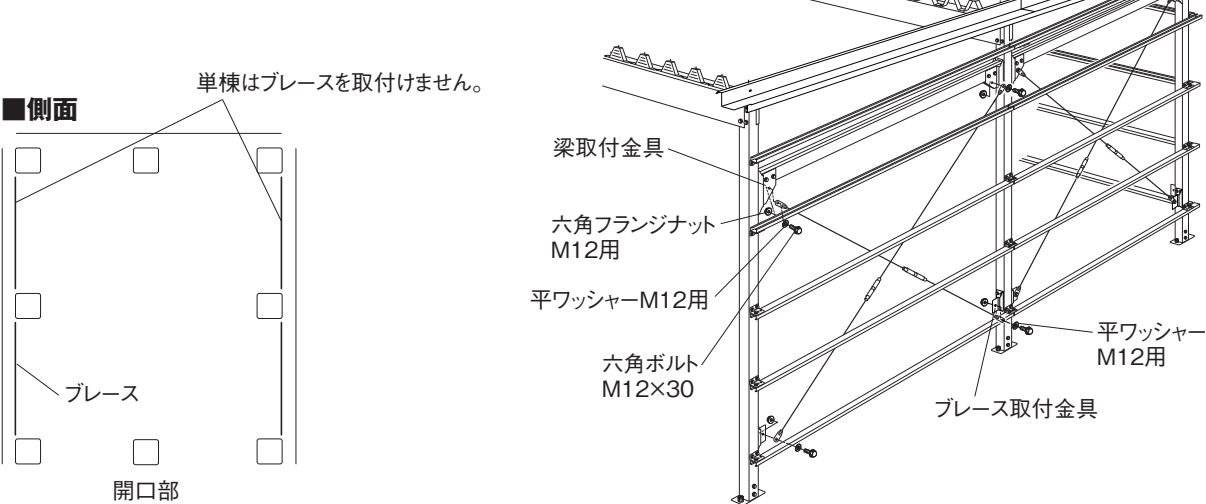


8 ブレース

※全てのブレースを取り付ける事により、建築基準法上の風荷重・地震荷重に耐える構造となっていますので、必ず全てのブレースを取り付けてください。

側面ブレースの取付

- ①ブレースを側面前の梁取付金具とブレース取付金具に取付けます。
(六角ボルトM12×30、平ワッシャーM12用、六角フランジナットM12用)
- ※側面にオプション框ドア・引戸・補助ドアが付く場合は、ブレースの取付け位置を変更する必要がありますので、次の[オプション框ドア・引戸・補助ドアを取付ける場合]を先に確認してください。



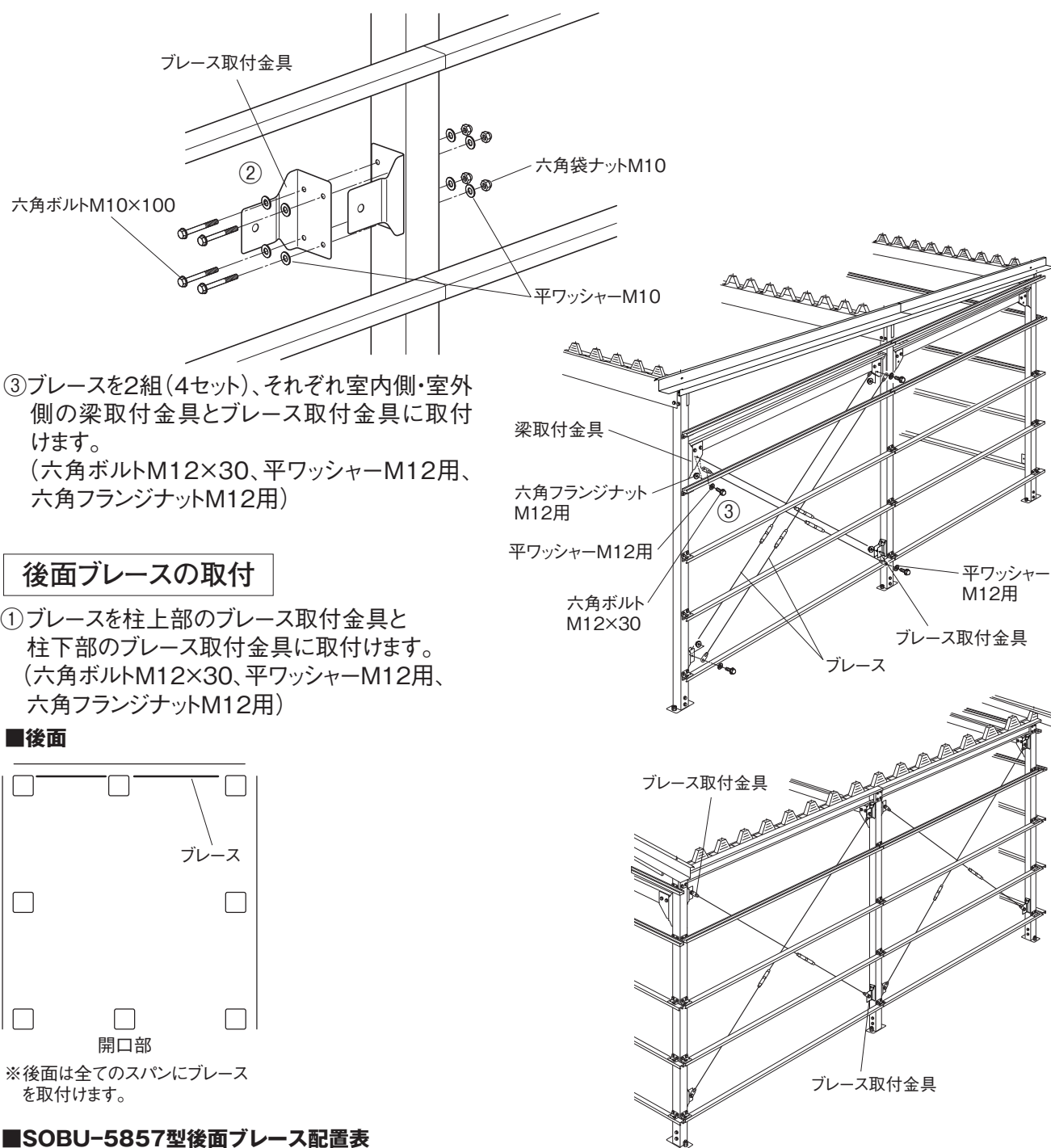
■SOBU-5857型側面ブレース配置表

機種	Lタイプ		Mタイプ		H-FHタイプ		ブレース径
	SA-B-L ℓ=3015mm ℓ1=1080mm + ℓ2=1845mm	SA-B-M ℓ=3310mm ℓ1=1080mm + ℓ2=2140mm	SA-B-M ℓ=3310mm ℓ1=1080mm + ℓ2=2140mm	SA-B-M ℓ=3310mm ℓ1=1080mm + ℓ2=2140mm	SA-H ℓ=3545mm ℓ1=1080mm + ℓ2=2375mm	SA-H ℓ=3545mm ℓ1=1080mm + ℓ2=2375mm	
連続数	前	後	前	後	前	後	10.7φ
単樑	○	×	○	×	○	×	
2連続以上	○	○	○	○	○	○	10.7φ

○:必要 ×:不要 W:ダブルブレース

オプション框ドア・引戸・補助ドアを取付ける場合

- ※側面にオプション框ドア・引戸・補助ドアを取付ける場合、ブレースの取付け位置を変更します。
(後面にはオプション框ドア・引戸・補助ドアは付きません。)
- ①開口部を取付ける側のブレース取付金具を外します。
 - ②外したブレース取付金具を開口部を取付けない側のブレース取付金具と一緒に向かい合わせで取付けます。又、ブレース取付金具を外したところには、再度ボルトのみを取付け、柱の孔を隠します。
(六角ボルトM10×100、六角袋ナットM10用、平ワッシャーM10用)



■SOBU-5857型後面ブレース配置表

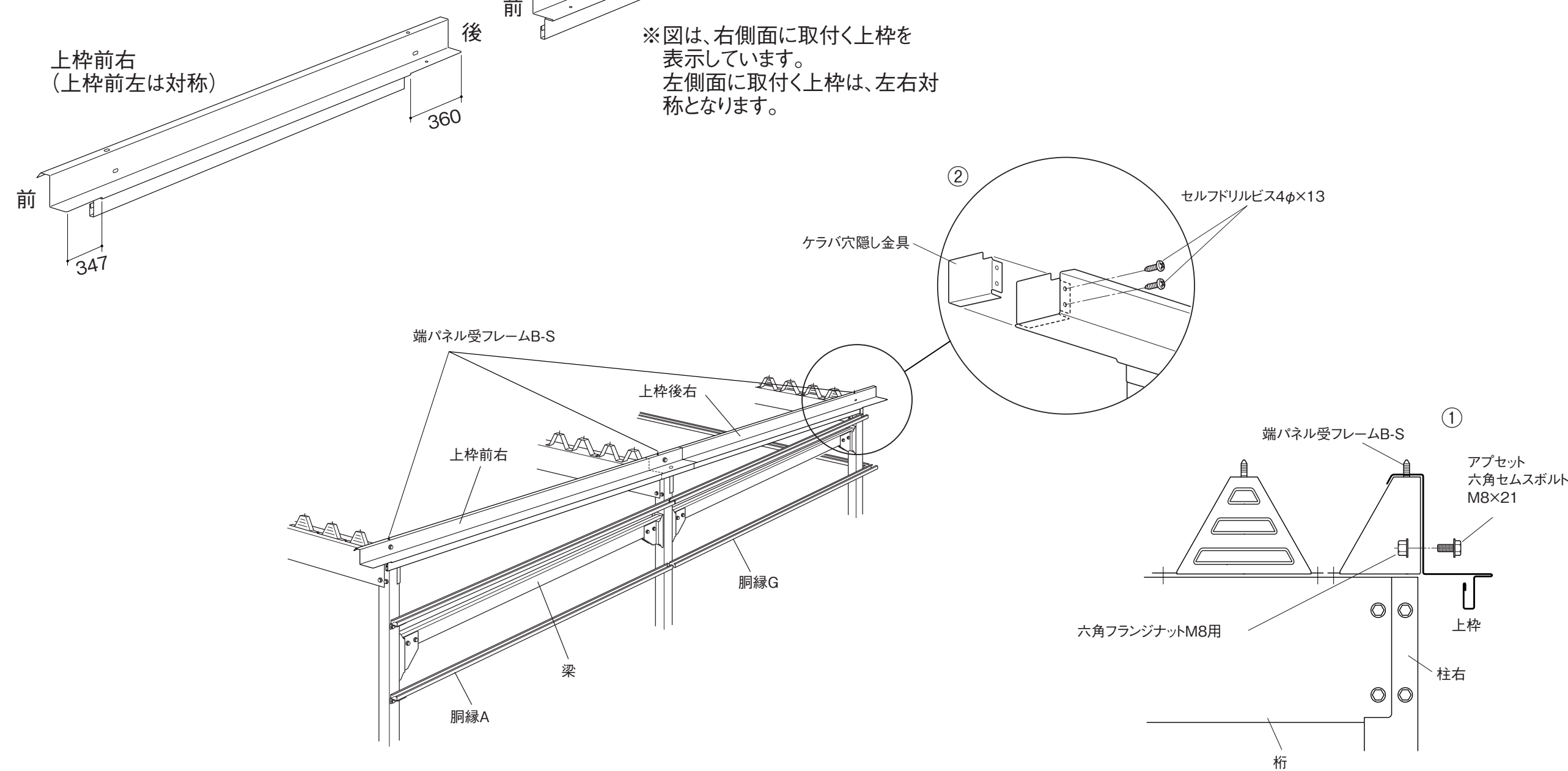
機種	Lタイプ		Mタイプ		H-FHタイプ		ブレース径
	SA-B-L ℓ=3015mm ℓ1=1080mm + ℓ2=1845mm	SA-B-M ℓ=3310mm ℓ1=1080mm + ℓ2=2140mm	SA-B-M ℓ=3310mm ℓ1=1080mm + ℓ2=2140mm	SA-B-M ℓ=3310mm ℓ1=1080mm + ℓ2=2140mm	SB-H ℓ=3650mm ℓ1=1080mm + ℓ2=2480mm	SB-H ℓ=3650mm ℓ1=1080mm + ℓ2=2480mm	
連続数	前	後	前	後	前	後	10.7φ
単樑	○	○	○	○	○	○	
2連続以上	○	○	○	○	○	○	10.7φ

○:必要 ×:不要

7 上桢

- ①上桢後を端パネル受フレームB-Sの剣先に入れ、その上から上桢前を重ねて下図の様に取付けます。
(アプセット六角セムスボルトM8×21、六角フランジナットM8用)
- ②ケラバ穴隠し金具を上桢後に取付けます。
(セルフドリルビス4φ×13)

●前後左右の確認をしてください。

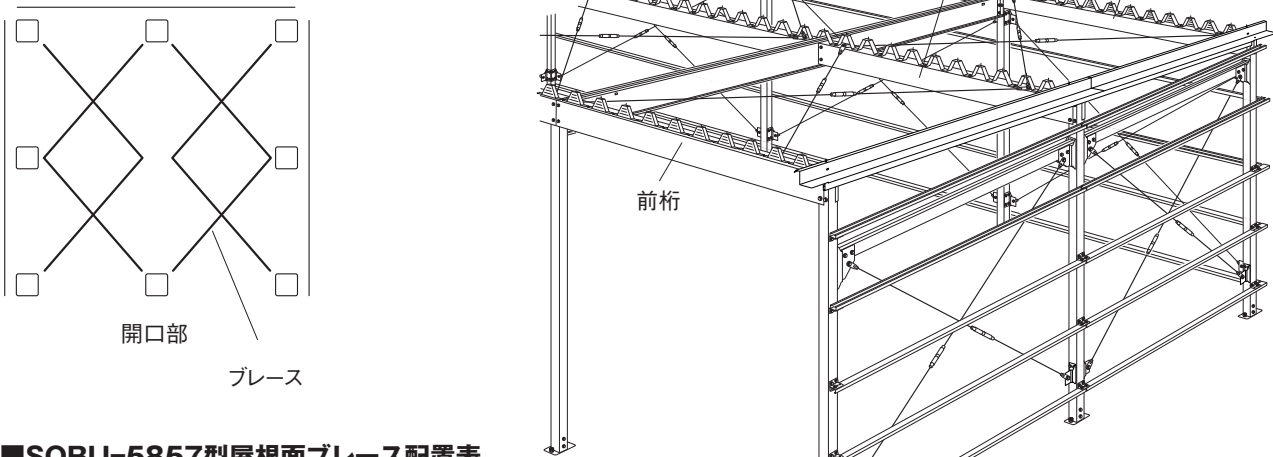


※図は、右側面に取付く上桢を表示しています。
左側面に取付く上桢は、左右対称となります。

屋根ブレースの取付

- ①ブレースを全ての桁間に取付けます。
(六角ボルトM12×30、平ワッシャーM12用、六角フランジナットM12用)

■屋根面



■SOBU-5857型屋根面ブレース配置表

機種	Lタイプ		Mタイプ		H-FHタイプ		ブレース径
	SC ℓ=3570mm ℓ1=1080mm + ℓ2=2400mm	SC ℓ=3570mm ℓ1=1080mm + ℓ2=2400mm	SC ℓ=3570mm ℓ1=1080mm + ℓ2=2400mm	SC ℓ=3570mm ℓ1=1080mm + ℓ2=2400mm	SC ℓ=3570mm ℓ1=1080mm + ℓ2=2400mm	SC ℓ=3570mm ℓ1=1080mm + ℓ2=2400mm	
連続数	前	後	前	後	前	後	10.7φ
単樑以上	○	○	○	○	○	○	

○:必要 ×:不要

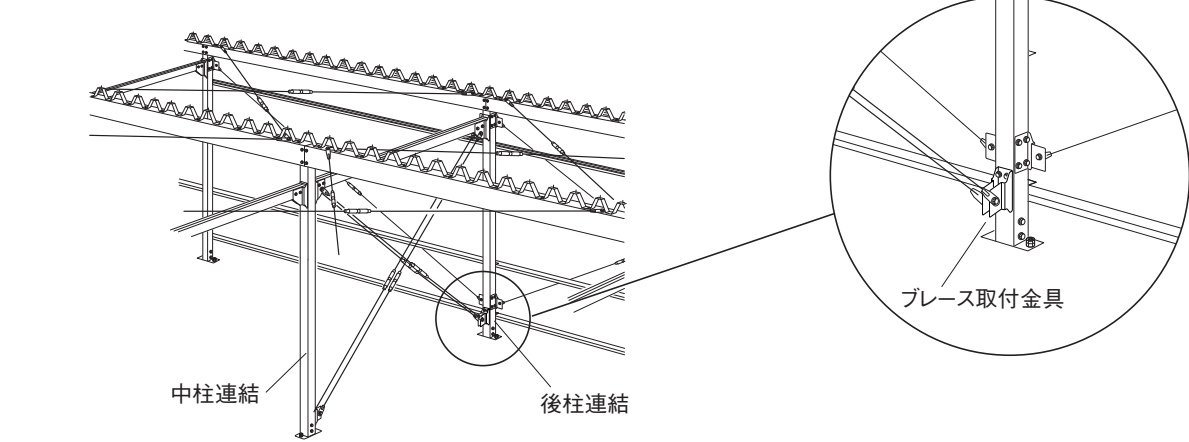
中間ブレースの取付

※連続数により強度を確保するため、連結部分にブレースを2組(4セット)取付ける必要があります。必要数は下記の表で確認してください。また、中間ブレースは、ブレースで区切られた面積が均等になるように配置してください。

■SOBU-5857型連結部ブレース配置表

機種	Lタイプ		Mタイプ		H-FHタイプ		ブレース径
	SA-B-L ℓ=3015mm ℓ1=1080mm + ℓ2=1875mm	SA-B-M ℓ=3310mm ℓ1=1080mm + ℓ2=2170mm	SA-B-M ℓ=3310mm ℓ1=1080mm + ℓ2=2170mm	SA-B-M ℓ=3310mm ℓ1=1080mm + ℓ2=2170mm	SA-H ℓ=3545mm ℓ1=1080mm + ℓ2=2375mm	SA-H ℓ=3545mm ℓ1=1080mm + ℓ2=2375mm	
連続数	必要本数	必要箇所	必要本数	必要箇所	必要本数	必要箇所	10.7φ
2連続まで	0	0	0	0	0	0	
3連続	4	1	4	1	4	1	10.7φ
4連続	8	2	8	2	8	2	10.7φ
5連続	8	2	12	3	8	2	10.7φ
6連続	12	3	16	4	12	3	10.7φ

- ①中(前)柱連結・後(中)柱連結の足元にブレース取付金具を向かい合せて取付けます。
(六角ボルトM10×100、六角袋ナットM10用、平ワッシャーM10用)
- ②ブレースを梁取付金具とブレース取付金具に取付けます。
(六角ボルトM12×30、平ワッシャーM12用、六角フランジナットM12用)

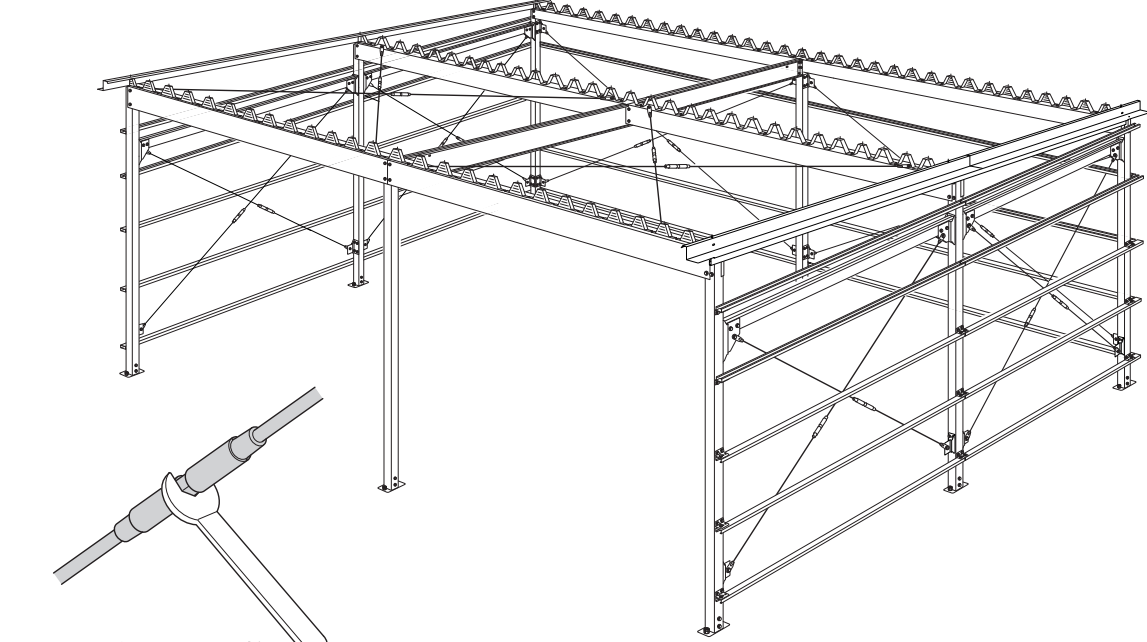


ブレースの取付確認

- ①下図の様にターンバックルで調整し、倒れ、通り、対角等を正確に出してください。
(今後の組立に支障がでます。)

※屋根をのせた後も調整が必要です。

※柱の傾きが5mmを超えるとシャッターの開閉に、支障をきたす場合がありますのでサゲフリ等で寸法の確認を必ず行なってください。



この組立説明書はエコマーク認定の再生紙を使用しています

部品箱の中の取扱説明書はお客様に必ずお渡しください。

(SOBU-5857)Ⅱ

ヨドコウ

SOBU-5857_NR_KS_2025A

ヨド倉庫

組立説明書 2

SOBU-5857型
(L)・(M)・(H)・(FH)

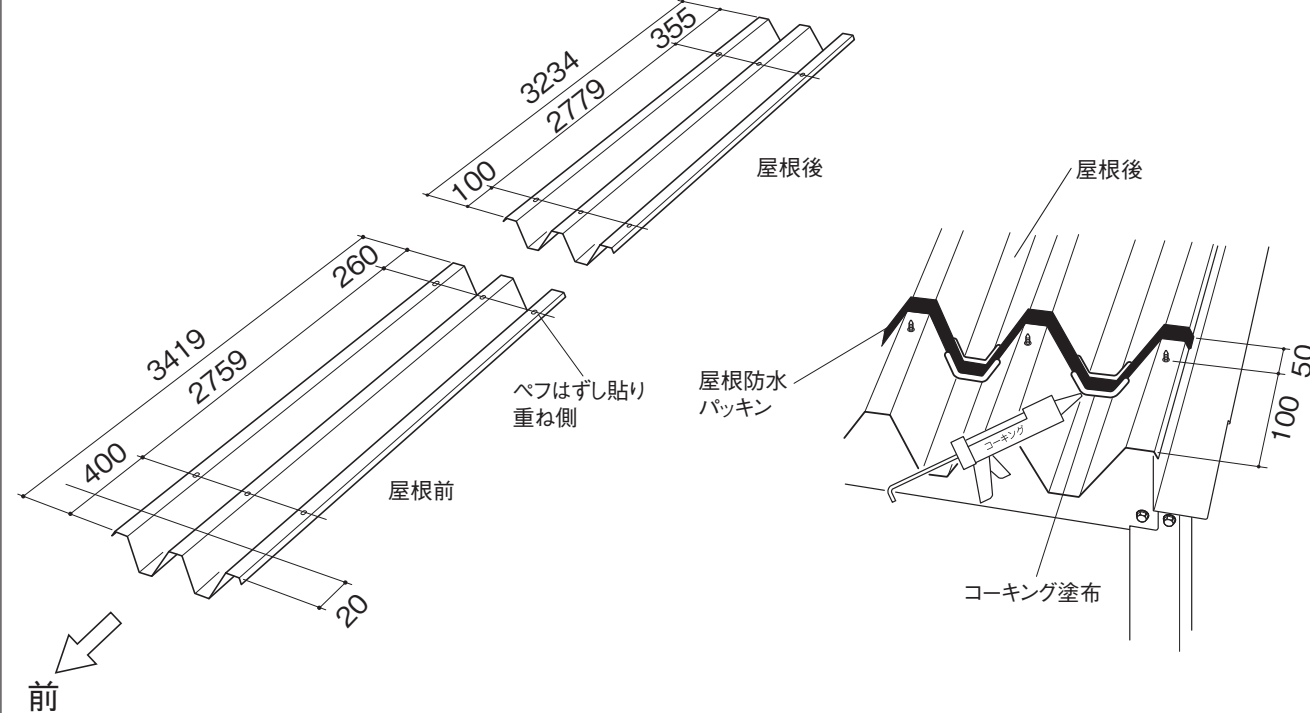


※本説明書はSOBU-5857Mを基に説明しております。

※組立説明書①・②の順で組立てください。

9 屋根及びケラバ接続金具

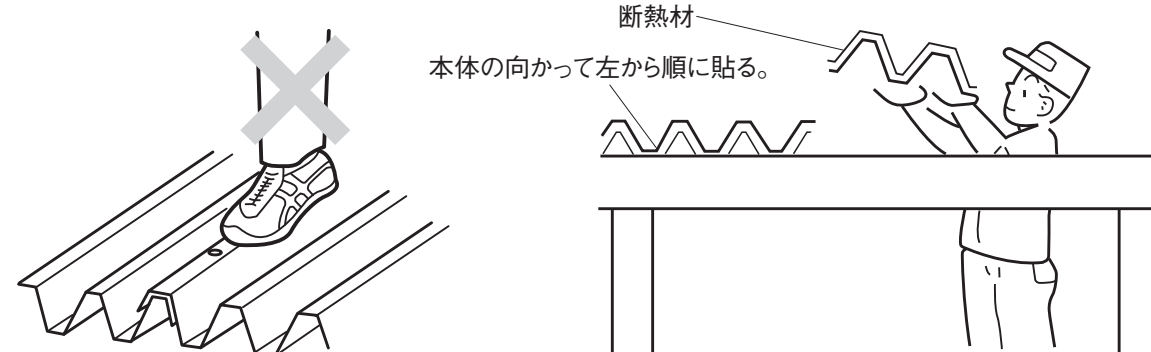
- ① 下図の位置に14φの孔をあけてください。
- ② 屋根後をパネル受フレームの剣先ボルトに通してのせます。
- ③ 屋根後をのせ終わったら、図のように屋根防水パッキンを取り付け谷部をコーキングします。



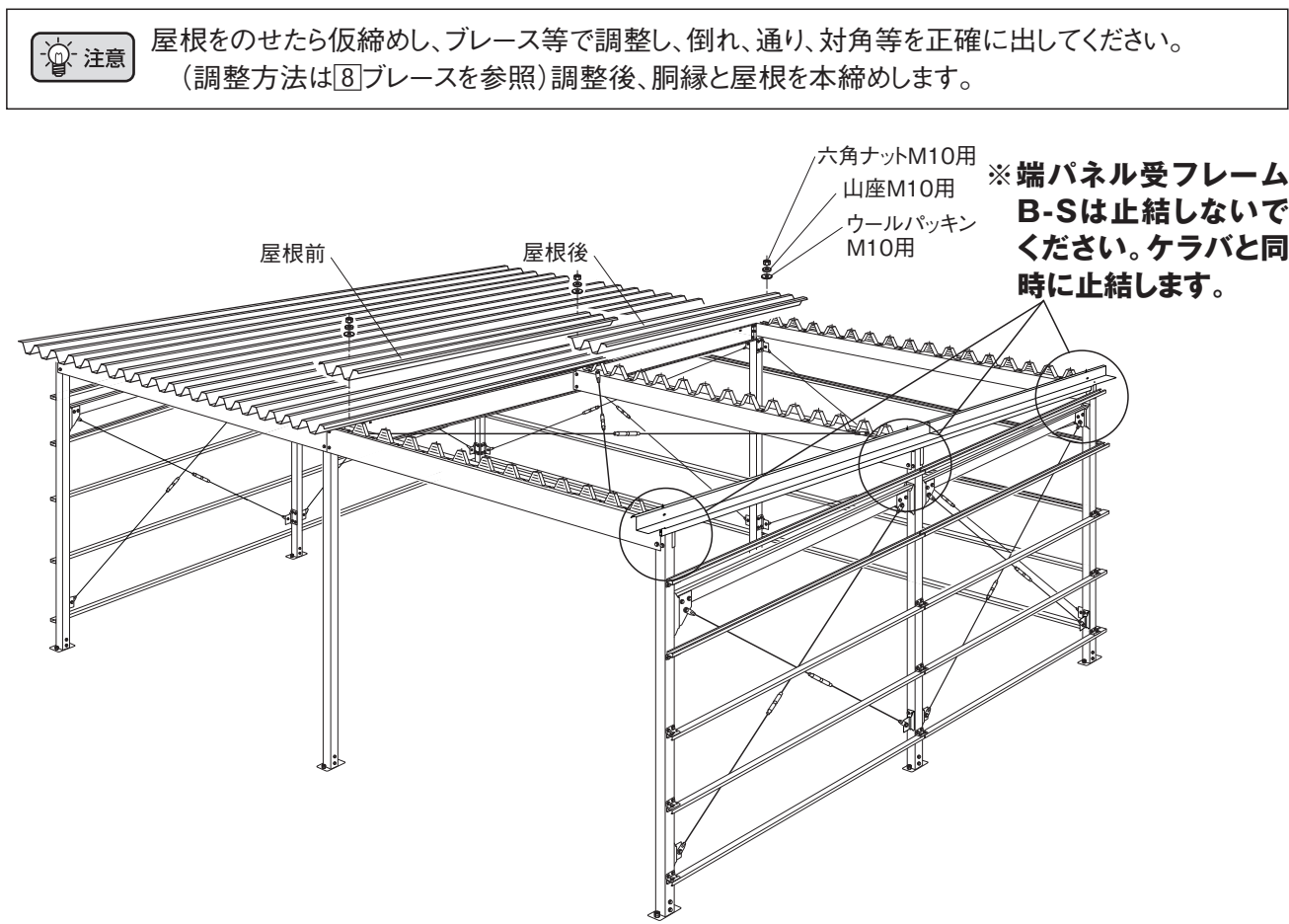
▶ 屋根は前と後の2分割になっていますので、屋根の重ね部には、防水パッキン、コーキングを必ず施してください。

⚠ 注意

- 屋根に上る場合は、転倒、転落等に十分注意してください。
 - 屋根の重ね部を締結するまで、重ね部には絶対に乗らないでください。
 - 屋根の裏面に柔らかい断熱材が貼ってありますので、キズつけないように取り扱いには十分ご注意ください。
- 断熱材の面を上にして貼る位置を決めてから、ひっくり返して取り付けてください。

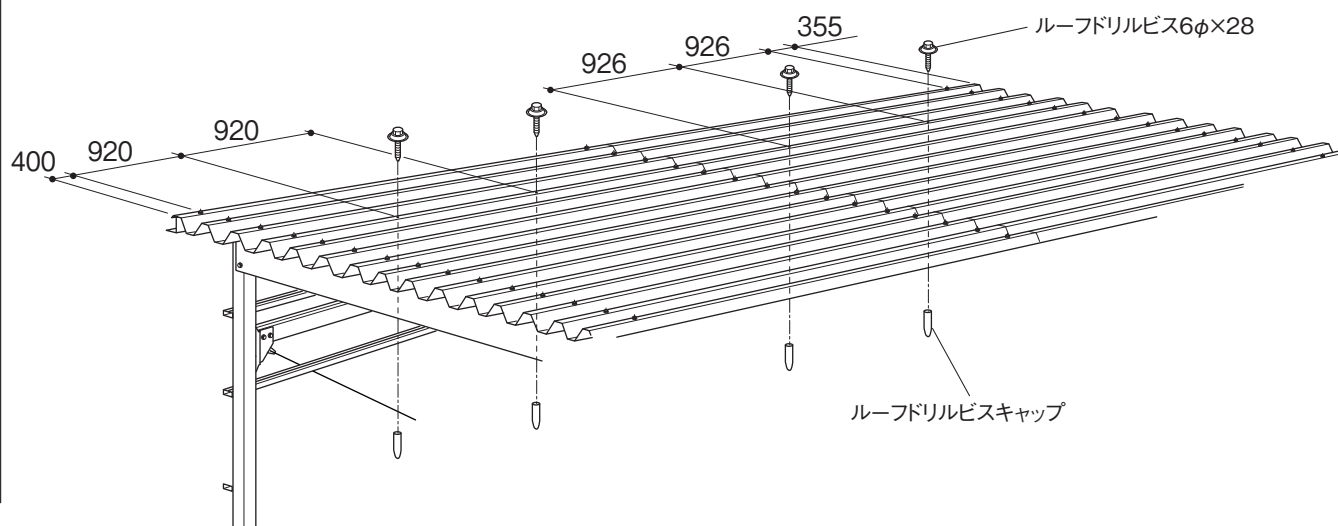


- ④屋根前も同様にパネル受フレームの剣先ボルトにのせたら、両端部を残し止結します。
(ウールパッキンM10用、山座M10用、六角ナットM10用)

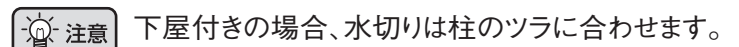


- ⑤屋根を本締めで固定した後、屋根重ね合わせ中央部をフレーム間で2ヶ所止結します。止結後、室内側よりキャップをかぶせます。
(ルーフドリルビス6φ×28、ルーフドリルビスキャップ)

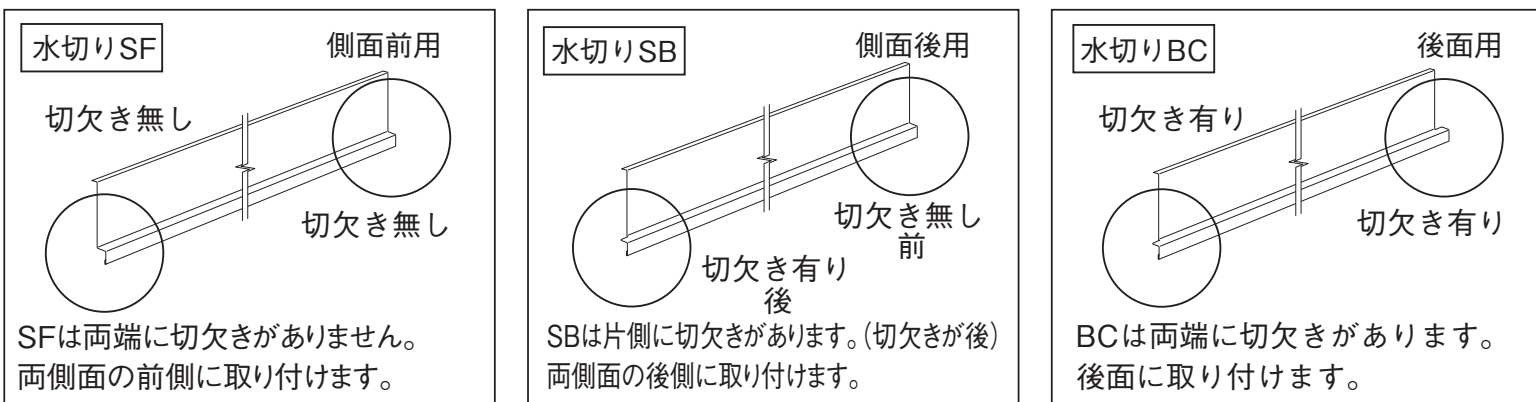
※ルーフドリルビスは締め過ぎると空回りしますので注意してください。



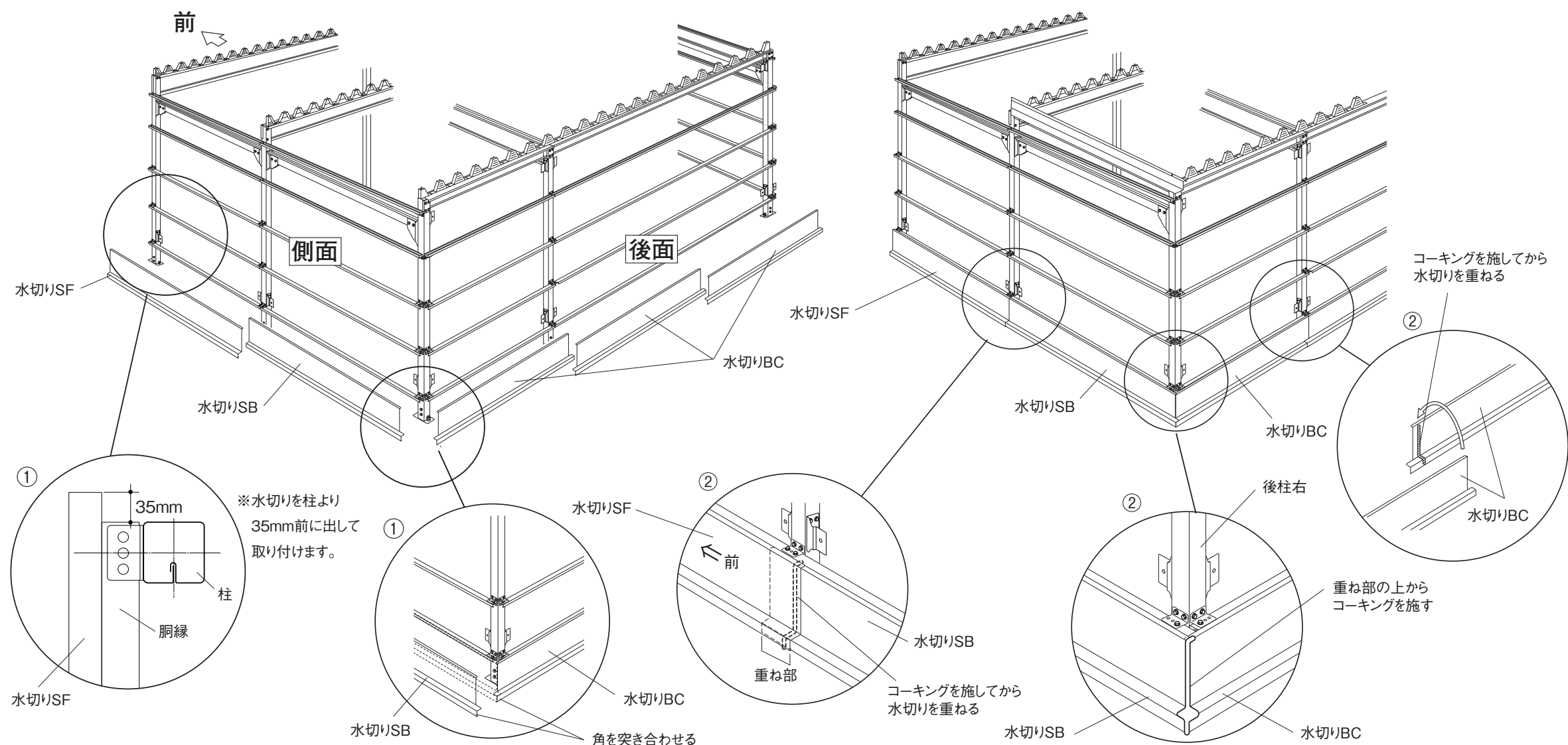
10 水切り及び壁



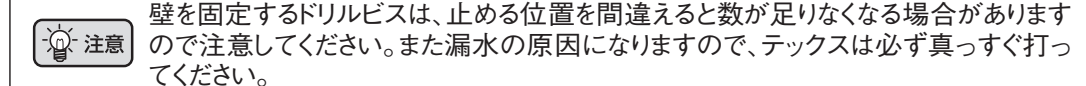
- ①水切りを一番下の胴縁に仮預けします。水切りBCを後面に配置し、側面後側の水切りSBと角を突き合わせます。水切りSFを側面前側に配置します。
※水切りSFは胴縁より約35mm程度前に出してください。



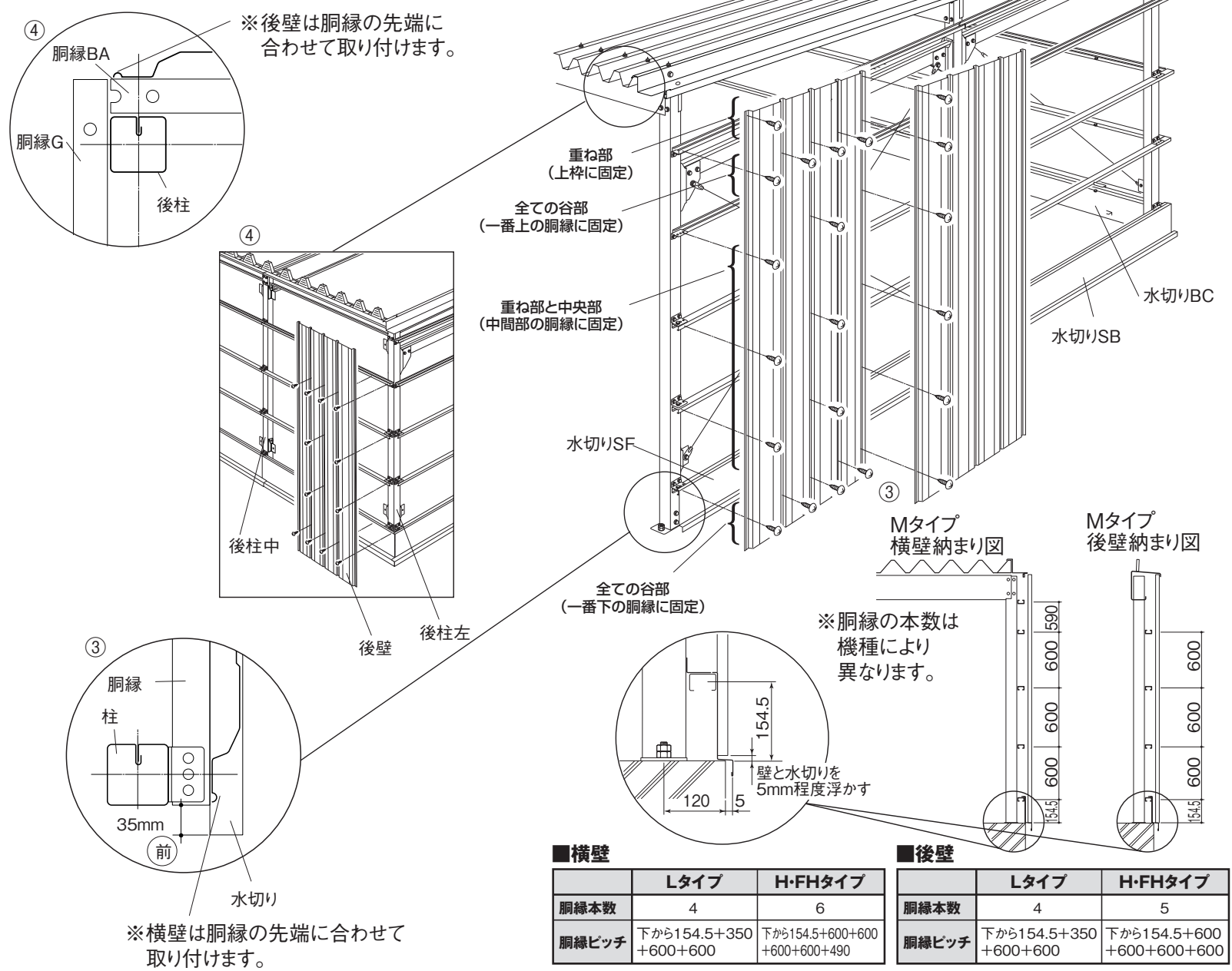
②水切りの重ね部は下図の様にコーキングしてください。



- ④ 横壁を前から順に胴縁(胴縁A)の先端に合わせ取付けます。(セルドルビス4φ×13)
 ⑤ 横壁を正面方向から左側から、胴縁(胴縁B)の先端に合わせ順に取付けます。(セルドルビス4φ×13)
 ※ 壁のドルビスは、上枠部は重ねねの部、一番上と一番下の胴縁部は全ての谷、それ以外の胴縁部は重ねね部と中央部のみの固定となります。いずれも胴縁・上枠内にビスが隠れるように固定してください。
 ※ 間口柱芯寸法の壁の幅寸法(800mm)で割り切れない場合、途中で壁の山部(200mm部)を重ねて調整していただく必要があります。
 (横壁は、奥行きが標準(5500mm)であれば調整は不要です。)
 (例) 5600(間口柱芯寸法)÷800=7(調整不要) (例) 8400(間口柱芯寸法)÷800=10.5(2山分調整)

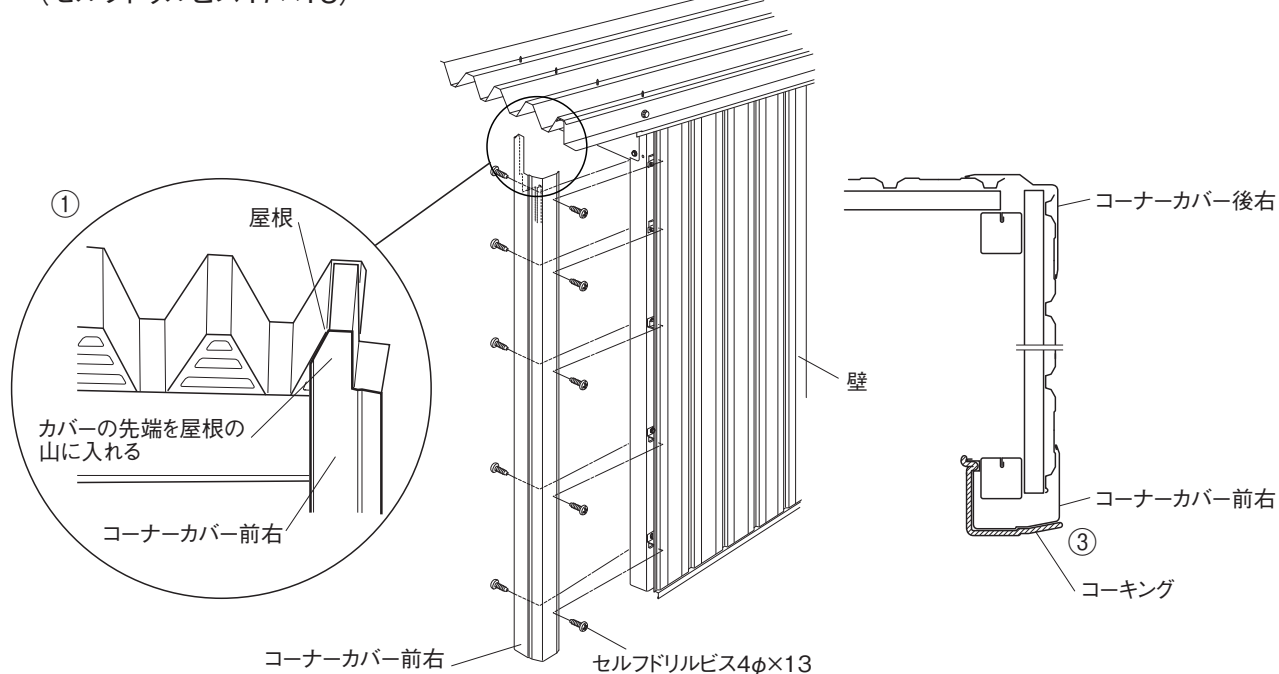


- ⑤さびの原因になりますので、テックスで固定後、切り粉を除去します。

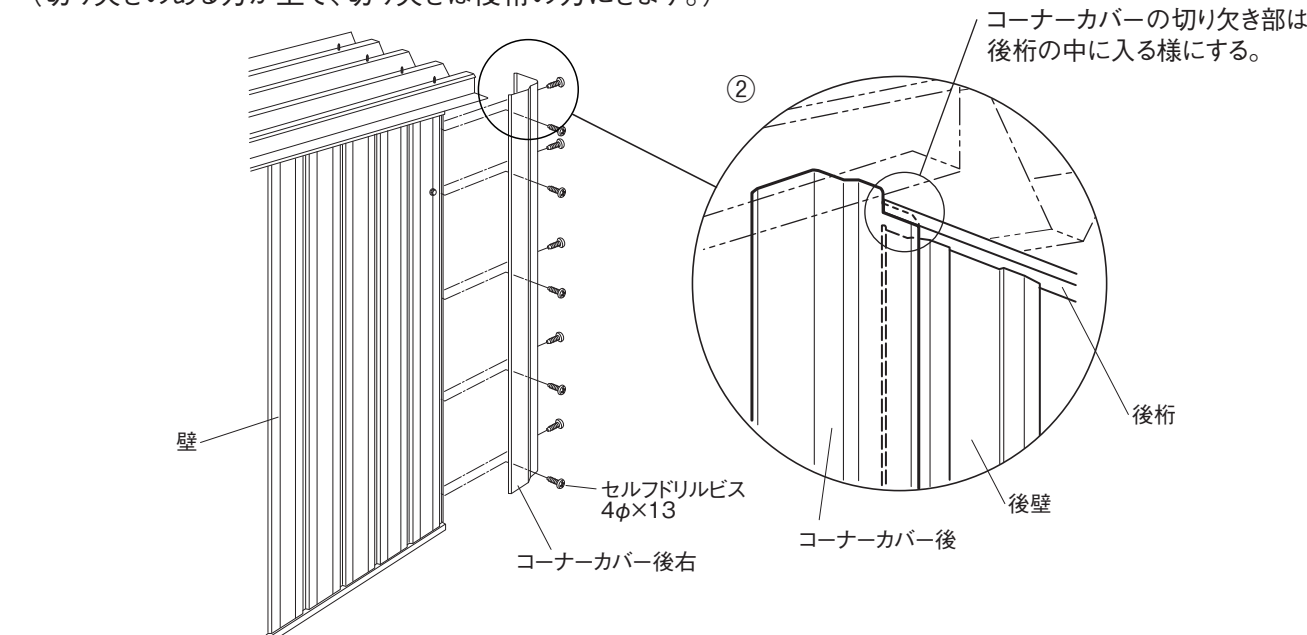


11 コーナーカバー

- ①コーナークバー前右及び前左を図の様に取付けます。
目印孔があいていますので、そこにビスを打って胴縁に固定します。
(セルフドリルビス4φ×13)



- ②コーナーカバー後右及び後左を図の様に取付けます。目印孔があいいますので、そこにビスを打って固定します。(セルフドリルビス4φ×13)
- ※コーナーカバー後は取り付けの向きに注意してください。
(切り欠きのある方が上で、切り欠きは後柄の方にきます。)



- ③上図のようにコーキングを行って下さい。

SOBU-5857_NR_KS_2025A